

魚津2040会議 報告書（第4回）

令和元年7月26日
魚津市公共施設再編推進室

【会議概要】

- 1 開催日時 令和元年7月25日（木）19:00～21:00
- 2 開催場所 魚津市役所2階 第1会議室
- 3 出席者 メンバー8名、市役所職員8名、計16名
- 4 概要 個別施設の跡地利用についてグループワークを行い、案を作成した。
グループA：旧大町小学校・旧上野方小学校
グループB：旧上中島小学校・旧松倉小学校
グループC：総合体育館ほか

【主な意見】

グループA

（1）旧大町小学校の跡地利用（案）

■ 空き教室をスタジオやトレーニングルームとして活用する。

- ・現在、グラウンドはスポ少、体育館は夜間開放で利用があるが、校舎内の利用は特にない。総合体育館が廃止予定なことに加え、学びの森も廃止案が検討されているため、スポーツ教室参加者や生涯学習教室を始めてみたい人（運営側）の受け皿として活用してはどうか。現状の状態でも、試しに実施してみることは可能ではないか。
- ・理想は、壁を壊して複数の教室をつなげることだが、耐震等の問題で可能かどうかは分からない。
- ・歴史民俗博物館等の設置を地区が望んでおられるが、それだけでなかなか人は来ないと考えられる。もしも複合施設を建てるのなら、ただあるものを詰め込むだけでなく、人を呼び込むような工夫が必要となる。

（2）旧上野方小学校の跡地利用（案）

■ （旧大町小学校と同様）

- ・現在、グラウンドはスポ少、体育館は夜間開放で利用があるが、グラウンドは照明が無いため、夜間の利用はない。
- ・サウンディング調査に関しては、地区住民の中であまり期待感は無かった。手をあげてくれる業者などいないだろう、という考えが多かったように感じる。一方で、手をあげる業者がいた場合でも、地区に確認があると聞いていたため（〇〇業者が手をあげているがどうか？というもの）、という業者が来るか、という不安は無かった。
- ・今年は、トイレの工事等の関係もあり、地区運動会を桃山の屋内グラウンドで行うが、「1年だけだから」という理由で何とか納得している状態。毎年となると、現状のままではなかなか厳しい。
- ・運動会を桃山のサブグラウンドでやれば良い、という声を聞くが、トイレもなく電気関

係の設備も無い場所でやるのはなかなか難しい。

- ・一方で、宅地分譲や民間業者への譲渡等でグラウンドが使えなくなったとしても、代替えの場所の整備がちゃんと成されるのであれば、地区の了承は得られる気もする。
- ・地区としては複合施設（公民館、保育園、消防、福祉関係等）があれば確かにありがたい。
- ・上野方小の屋上からの景色は素晴らしい。うまく利用できれば、と思うことはある
- ・使わないでいると、中は汚くなっていく一方。「〇〇で使えば良い」という人の中には、校舎内の現状を知らない人が多い。
- ・宅地分譲にしても何にしても、魚津は二次交通が重要。現状で上野方地域から駅前に出ていく時は、16時頃のバスに乗っていかなければならない。車の無い人への配慮は必要。

グループB

(1) 旧上中島小学校の跡地利用（案）

■民間へ有償譲渡する。（公民館はもくもくホールへ移転）

- ・もくもくホールを公民館とする案について、機能としては十分移転可能である。
- ・ただし、地区の中には、反対意見もある。（現公民館の立地場所が、昔から地区の中心部であった吉野地区から山手に移ることに対する反対意見。）
- ・旧校舎に加え、体育館も譲渡するのであれば、グラウンドの活用も検討したらよいのではないか。
- ・公民館常駐の事務員ともくもくホールの運営委託先（NPO法人魚津市西部地域振興協議会）の運営母体が違うと思うが、異なる組織が同じ施設に同居できるのか。

(2) 旧松倉小学校の跡地利用（案）

■地域資源との結びつきを図りつつ、公民館機能を旧校舎へ移転する。

- ・ヤギの杜や、のろし祭りなどといった地域資源と繋がりを作る拠点としての機能を持たせることが有効（例えば、郷土資料展示などにより）。
- ・ただし、改修については、財政支出抑制の観点から、機能整備に必要な最小限の部分のみとする。
- ・旧校舎以外の公共施設活用の可能性はないか。

グループC

(1) 総合体育館の跡地利用（案）

■サウンディング調査を実施する。

- ・バイパス沿い、魚津 IC が近いので魅力的な土地。全て住宅地にするというのは無難ではあるが、商業用地、企業用地として貸す方が市の利益が多いならその可能性も検討してもよいのでは。
- ・これまでの 2040 会議の意見としては、総合体育館、温水プール、吉田グラウンドは廃止との方向性でまとめているが、そこを変える必要はない。グラウンドは桃山や小学校で代替施設が充分にある。住宅地にグラウンドがあっても、その土地の魅力アップにはならない。

- ・ファボーレ、イオン、映画館のような施設を企業が立地してくれるには、人口規模 10～17 万人以上必要（国土交通省資料）。黒部、朝日、入善を入れてもその規模には届かない。既存の商業施設の状況を見ている、採算が厳しく大型商業施設が存続するにはハードルがあるかもしれない。
- ・道の駅の建設費は自治体負担のところは 9 割以上（国土交通省資料）。財政難の中、新たなハコモノを増やすのは厳しい。海の駅がすでにあるのでそちらの活用を考えたほうが良い。
- ・住宅地と商業施設を組み合わせる方法もありえる。
- ・崖があるが、急傾斜地の指定はされていないため、住宅地にすることは可能。しかし、雨が降ると用水があふれてグラウンドに流れ出てくるので、改良は必要。

全体

- ・目先のことだけを考えて安易な活用を図るべきではない。10 年後、20 年後を見据え、計画的に活用を考えていくことが絶対に必要。
- ・子供の遊び場があれば喜ばれるのは間違いない。管理等が問題になるとは思うが、その他の取り組みと合わせて行うなど検討が必要。
- ・総体や学びの森が無くなった後の代替え施設が必要になるのは間違いないため、今の内に何か実際に試しておくことは重要。例えば、空き校舎でスポラ等のプログラムを実施できる体制があるのであれば、実際にやってみれば良い。
- ・文科省で廃校利活用の紹介ページを持っている。富山県内からの登録は現在 1 軒しかない。特に登録をしない理由がなければ、登録しておけば良いのではないかと思う。
- ・長い目で見た利益（賑わい等の拠点施設などで市有地を定期借地権等で貸し出す場合）と目の前の利益（市有地を一括売却して売却益・資金繰りの確保）の両方を見据える必要がある。
- ・長い目で見た利益を求めて初期投資等が必要なのであれば、ペイできるかを考える。夢物語ではなく現実的に採算性を試算する必要がある。
- ・土地利用のプロ（不動産業者等）にどういった利用なら利益（市の歳入＋賑わい）が最大化するのか、買い手がつくのかをヒアリングしてはどうか。様々なノウハウやアイデアを持っている。2040 会議のメンバーだけでは思いつかないような考えもあるはずである。サウンディング調査等も検討してはどうか。

【過去の開催状況】

第1回

- 1 開催日時 平成31年4月18日（木）19:00～21:00
- 2 開催場所 魚津市役所2階 第1会議室
- 3 出席者 メンバー16名、市役所職員13名、計29名
- 4 概要 市の財政状況等について説明後、公共施設のあり方等についてグループワークを実施。5グループに分かれて、主な公共施設について維持・廃止を議論した。

施設訪問会

- 1 開催日時 令和元年5月12日（日）13:00～17:00
- 2 開催場所 埋没林博物館、ありそドーム、新川学びの森天神山交流館
- 3 出席者 メンバー2名、市役所職員3名、計5名
- 4 概要 第1回で出た意見や疑問等を基に、各施設で働く職員に話を伺った。

第2回

- 1 開催日時 令和元年5月20日（月）19:00～21:10
- 2 開催場所 魚津市役所3階 大会議室
- 3 出席者 メンバー14名、市役所職員11名、計25名
- 4 概要 第1回に引き続き、公共施設のあり方等についてグループワークを実施。4グループに分かれて、主な公共施設について維持・廃止を議論した。

第3回

- 1 開催日時 令和元年6月20日（木）19:00～21:00
- 2 開催場所 魚津市役所2階 第1会議室
- 3 出席者 メンバー12名、市役所職員7名、計19名
- 4 概要 使用料の適正化に関する基本的な考え方（案）及び跡地利用についてグループワークを実施。